「メディつき」とは

「メディアとのつきあい方学習」とは、玉川大学教職大学院 堀田龍也教授が 2004 年以降提唱してきた情報教育の理論です。私たちは親しみを込めて「メディつき」と呼んでいます。

「メディつき」は、決してメディアを否定しません。メディアの特性を正確に理解することによって、メディアと上手に「つきあって」いこうとします。

「メディつき」には３つの学習内容があります。

1. メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方
2. メディアが生活に与える影響
3. メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方

1 メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方

例えば、新聞と雑誌では、表現形態が異なります。電子メールと掲示板は、読者の範囲が異なっています。また同じテレビ番組であっても、ニュースは即時性の高い事実情報を伝えますが、ドラマはあくまで虚構です。私たちは、こうしたメディアによる特性の違いを理解することで、情報を冷静に受け止めたり上手に使いこなしたりすることができるようになります。

2 メディアが生活に与える影響

私たちは毎日、メディアを通してたくさんの情報を得ています。例えば、買い物で商品を手に取る背景には、少なからずテレビＣＭの好感度があったりします。マスメディアは、私たちに役立つ情報を適切に伝えますが、誰かが構成し編集したものでもあります。こうしたメディアの及ぼす影響を理解した上で、私たちは自分で物事を判断しなければならない、ということを教える必要があります。

3 メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方

情報社会に生きる上で普通に遭遇する様々な問題を知り、自分の身を守る術を身に付けることです。例えば、突然他者への転送を促すメールが届いたらどうするか、友だちとのメールのやりとりで気持ちが行き違っていると感じたときどうするか、…等、単に教え込むだけでなく、メディア活用の体験を通して知識を持つことができるよう指導する必要があります。

この「メディつき授業パッケージ」には、メディつきの授業を誰もが実施できるように、学習指導案、ワークシート、指導の手引等を取り揃えています。これまで私たちが行った実践の中から成果を上げてきた題材のうち、代表的な８つのメディアに絞り、８ 冊の冊子にまとめました。さっそく「メディつき授業パッケージ」を使って実践していただければ幸いです。

メディつき授業パッケージの使い方

1 まずは「メディつき」を知る

「メディアとのつきあい方学習って何だろう」という疑問を解決するために、「メディつきとは」というページを設けました。はじめにお読みいただき、メディアとのつきあい方学習の基本的な考え方を理解しましょう。

2 実践したい教材を決める

メディつき授業パッケージは、全て１単位時間で行うことができる実践です。冊子に掲載されている「メディつき授業パッケージ一覧」に書かれている教材名、メディア名、対象学年（目安）、各教科・領域などから、実践したい教材を選びましょう。

3 授業のイメージをつかむ

冊子には、授業の展開例や教師用ワークシート（朱書き入り）、授業時の教師用トークが掲載されています。授業の展開例を参考にして授業のイメージをつかみましょう。

初めてメディつきの授業をする場合は、授業の展開例だけではイメージをつかみにくいかもしれません。そのような場合は、授業時の教師用トークを参考にしましょう。ここには、教師の発問や指示が具体的に書かれています。授業前に読んでおくと安心して授業を行うことができます。

4 準備物を整える

授業で使う準備物には、「この冊子に同梱」「教材ダウンロードサイトで入手」「各自で入手」「その他あった方がいいもの」があります。

■この冊子に同梱
児童用と教師用のワークシート、授業資料がこの冊子に同梱されています。冊子にあるものをそのまま印刷して使うことができます。

■教材ダウンロードサイトで入手
教材ダウンロードサイト http://mdtk.mlk5.net/pack/ から、児童用ワークシート（pdf）、授業資料（pdf）、授業用スライド（pptx）などを入手することができます。

■各自で入手
授業を行うときに使うものです。教師や児童が用意します。

■その他あった方がいいもの
授業を行うときに便利なものを紹介しています。

5 授業をする

１～４ができました。さあ、授業を行いましょう。

メディつき授業パッケージの構成

全冊子共通の内容

◆ **メディつきとは**
メディアとのつきあい方学習の基本的な考え方について説明しています。

◆ **メディつき授業パッケージの使い方**
本パッケージの使い方について、５段階で説明しています。

◆ **メディつき授業パッケージの構成**
「全冊子共通の内容」と「冊子ごとの内容」に分けて冊子の構成を示しています。

◆ **メディつき授業パッケージ一覧**
本パッケージの早見表です。８教材を比べながら見ることができます。

冊子ごとの内容

◆ **ねらい、教材の価値、対象学年、教科・領域等、時間数**
授業のねらいや教材の価値など、授業の概要が分かるようになっています。

◆ **授業の位置付け、準備物**
メディつき実践を行うことができる教科・領域との関係を示しています。

◆ **授業の展開例**
発問、予想される児童の反応、指導上の留意点などが書いてあります。

◆ **授業資料**
どんな資料を使って授業を進めるのかが分かります。

◆ **児童用のワークシート**
授業で使うワークシートです。そのまま印刷して使うことができます。

◆ **教師用のワークシート（朱書きあり）**
児童への指導助言がしやすいように、予想される児童の反応を示しています。

◆ **授業時の教師用トーク**
発問や指示など、授業において教師が何を話せばいいのかが分かります。

メディつき授業パッケージ一覧

教材コード	A	B	C	D
教材名	広告のポスターを調べよう	学級新聞を調べよう	ラーメンパッケージを調べよう	商品の CM を調べよう
メディア名	広告のポスター	学級新聞	製品のパッケージ	テレビの CM
対象学年(目安)	小学校４年	小学校４年	小学校５年	小学校５年
教科・領域等	国語科・ 総合的な学習の時間	国語科・ 総合的な学習の時間	家庭科・ 総合的な学習の時間	社会科・家庭科・ 総合的な学習の時間
時間数	１時間	１時間	１時間	１時間
準備物 (この冊子に同梱)	ワークシート ポスター	ワークシート 学級新聞	ワークシート インスタントラーメンのパッケージ	ワークシート
準備物 (教材ダウンロードサイトで入手) (各自で用意)	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（PDF） ポスター（PDF） 授業用スライド	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（PDF） 学級新聞（PDF） 授業用スライド	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（PDF） インスタントラーメンのパッケージ（PDF） 授業用スライド	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（PDF） 黒板掲示用カード（PDF） 授業用スライド 「ガリガリ君」のテレビ CM http://www.garigarikun.jp/
準備物 (その他あった方がよいもの)	プロジェクタ、 スクリーン、 広告のポスター	プロジェクタ、 スクリーン	プロジェクタ、 スクリーン	プロジェクタ、 スクリーン
メディつきとしてのねらい	広告のポスターは、読み手を惹き付ける工夫がされていることに気付かせ、全てを鵜呑みにしないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	学級新聞は、読み手が学級内の人だけではなく、学級外の人が読んだり、うわさが広がったりすることもあることに気付かせ、読み手への影響や取材相手の気持ちを考えて情報を発信することが大切であることを理解させる。	商品のパッケージには、売り手が消費者を惹き付ける工夫と、消費者が必要ないろいろな情報が載っていることに気付かせ、それらを読み取って商品を選ぶことが大切であることを理解させる。	テレビ CM が伝える商品情報は事実の一部しか伝えていないことに気付かせ、商品を購入するときには品質表示に書いてある情報も見て選ぶ必要があることを理解させる。
この教材の価値	広告のポスターを見て、ついその商品を買ってしまうことがある。これは、広告のポスターには、人を惹き付けるための工夫がされているからだ。ポスターにかかれているキャッチコピー、写真、色使い、背景などの工夫を調べさせる。そして、ポスターは、読み手の行動に影響を及ぼしていることに気付かせ、情報を鵜呑みにしないで見ることが大切であることを理解させる。この活動を通して、賢くポスターの情報を活用していこうとする姿を期待する。	子どもたちが手軽に情報を発信できる手段の一つに学級新聞があり、掲載する記事は子どもたちが決めている場合が多い。例えば、学級新聞で友だちを紹介する記事では、「載せてもよいこと」「載せてはいけないこと」「載せてもよいか悩むこと」がある。そこで、これらの視点で学級新聞を調べ、読み手や取材相手の気持ちに気付かせ、発信された情報の影響について理解させたい。この活動を通して、メディアの特性や情報を発信することの大切さについて考えられる子どもの姿を期待している。	商品のパッケージには、消費者を惹き付けるさまざまな工夫がされている。また、それと同時に消費者にとって必要な情報もたくさん載っている。この教材で活動すると、インスタントラーメンのパッケージには、消費者を惹き付けるための工夫や消費者に必要な情報提供の仕方があることについて気付かせ、実際に商品を選ぶ際にも、パッケージに載っていることを読み取る大切さを理解させたい。この活動を通して、商品を選ぶ手がかりにすることができるような態度が育成されることを期待している。	商品のテレビ CM には、視聴者に「買いたい」と思わせるための情報を伝え、商品に関する心配な点は伝えないという特性がある。この教材を活用して学習すると、今まで何気なく見ていたテレビ CM を分析的に読み取り、その特性に気付かせることができる。その上で、商品に関する情報には表示が法律で決まっている「品質表示」があることや、実際に商品を選ぶ際には様々な情報を集めて検討する必要があることを理解させたいと考える。この活動を通して、消費者として必要な見方・考え方の一部を身に付けさせるきっかけとなることを期待している。
授業の展開	１．プロが作ったポスターを見て、一番初めに目がいくところを話し合わせる。 ２．上手だと思うところ、不思議だと思うところを見付けさせる。 ３．ポスターを作った人は、なぜ工夫してポスターを作るのかを考えさせる。 ４．受け手の立場として、ポスターをどんなふうに見たらいいのかを考えさせ、本時をまとめる。	１．友だちを紹介する学級新聞を読み解かせる。 ２．情報モラルの視点で、まとめをする。 ３．学級新聞というメディアの特性を考えさせる。 ４．特性を理解したうえで、どのように情報を発信したらよいのか考えさせ、まとめる。	１．インスタントラーメンのパッケージの表面を見て、消費者を惹き付ける様々な工夫があることに気付かせる。 ２．裏面に書いてあることを分析し、表面と比べてそれぞれの特徴を考えさせる。 ３．他のパッケージを見て同じような例がたくさんあることを想起させる。 ４．商品を購入するときに気を付けることをことをまとめる。	１．商品名を伏せたまま「品質表示」を読み取ったり、商品名を推測したりさせる。 ２．「ガリガリ君」のテレビ CM を分析し、伝えていることを読み取らせる。 ３．消費者として心掛けることを考えさせ、品質表示に書いてる情報も見て選ぶ必要があることをまとめる。

教材コード	E	F	G	H
教材名	テレビ番組欄を調べよう	新聞記事を調べよう	プロフの特性を調べよう	架空請求メールを調べよう
メディア名	新聞のテレビ番組欄	新聞の記事	プロフ	架空請求メール
対象学年(目安)	小学校５年	小学校５年	小学校６年	小学校６年
教科・領域等	社会科・ 総合的な学習の時間	国語科・ 総合的な学習の時間	特別活動・ 総合的な学習の時間	国語科・ 総合的な学習の時間
時間数	１時間	１時間	１時間	１時間
準備物 (この冊子に同梱)	ワークシート　テレビ番組欄 テレビの平均行為者率の表	ワークシート 新聞記事	ワークシート　プロフとプロフィール帳の比較表　提示用プロフ画面	ワークシート 架空請求メールの文面
準備物 (教材ダウンロードサイトで入手) (各自で用意)	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（ＰＤＦ） テレビ番組欄（ＰＤＦ） テレビの平均行為者率の表（PDF） 授業用スライド 色鉛筆（各自で用意）	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（ＰＤＦ） 新聞記事（ＰＤＦ） 授業用スライド	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（ＰＤＦ） 提示用プロフ画面（ＰＤＦ） 授業用スライド	http://mdtk.mlk5.net/pack/ 児童用ワークシート（ＰＤＦ） 架空請求メールの文面（ＰＤＦ） 授業用スライド 赤・青・黒３色マーカー （各自で用事）
準備物 (その他あった方がよいもの)	プロジェクタ、 スクリーン	プロジェクタ、 スクリーン	プロジェクタ、 スクリーン	プロジェクタ、 スクリーン
メディつきとしてのねらい	テレビ番組欄に書かれている番組の種類やその放送時間は、視聴者を意識して提供されていることに気付かせ、情報社会では、人々が利用しやすいように工夫された情報が提供されていることを理解させる。	新聞記事は、限られた紙面を使って伝えたいことをできるだけ分かりやすく伝えるために、様々な工夫が施されていることに気付かせ、マスメディアでは、プロの送り手が工夫・編集した情報が提供されていることを理解させる。	プロフに住所や電話番号などの個人情報を書かなくても、そこに書かれている断片的な情報をつなぎ合わせれば個人が特定できることに気付かせ、書かれた情報を関連させたり意味を考えたりして読むことの大切さを理解させる。	架空請求メールは、受け手の知識不足につけ込んだり、不安をあおったり、もっともらしく書いたりすることでお金をだまし取ろうとしていることに気付かせ、読み解けば不安感を持たなくても良いものであることを理解させる。
この教材の価値	子どもたちの多くは似たようなテレビ番組を見ており、次の日学校で話題になることがある。なぜ共通の話題で話せるのかというと、制作者側が視聴者層を意識して番組を提供しているからである。しかし、多くの子どもはこの事実に気付かず、楽しく番組を視聴している。そこで、テレビ番組は視聴者層を意識して作られていることや、そのために同年代の人たちと話が合うことに気付かせると共に、便利な情報社会の中で生活していることを理解させたい。この活動を通して、情報社会のしくみについて考えようとする子どもの姿を期待している。	新聞記事には、一見出来事とは直接関係のない当事者の「年齢」「職業」が書かれる場合がある。また、書かれない事実があったり、新聞社によって取扱いの大きさが違ったりすることもある。そこで、この教材での活動を通して、情報の送り手である新聞社が、限られた紙面で、伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫に気付かせる。そして、この工夫によって読みたい記事をすぐに読めたり、読みやすいように記事が提供されたりしていることを理解させたい。この活動を通して、便利に情報が提供されている情報社会のしくみについて考えようとする子どもの姿を期待している。	プロフは簡単に作れるので気軽に使いがちだが、インターネット上で公開されるものであり、個人情報の漏洩などをはじめとしたトラブルの元になることもある。また、個人情報が載っていなくても、リンクをたどりそれぞれの情報を合わせると個人が特定できるような場合もある。この教材で活動することで、プロフの特性を考えて書きこむ内容を吟味することの必要性や、断片的な情報も他の情報と照合することで個人情報が分かってしまうことに気付かせ、書いたことを関連させたり、意味を考えて読んだりすることの大切さを理解させたい。この活動を通して、慎重に情報を発信しようとする子どもの姿を期待している。	携帯電話を使っていると、迷惑メールを受信することがある。迷惑メールは日々巧妙化しており、その被害は完全にはなくなっていない。この教材で実際に使われた架空請求メールを読み解く活動を通して、不安感をあおる言葉や信じ込ませる記述があることに気付かせ、実際にこのようなメールを受信したときにも落ち着いて読み解き、対処すると良いことを理解させたい。この活動を通して、架空請求メールを読み解くポイントや知識を得ることができ、さまざまな迷惑メールに冷静に対処しようとする子どもの姿を期待している。
授業の展開	１．テレビ番組欄に興味をもたせる。 ２．テレビ番組欄に書いてある内容を調べさせる。 ３．番組の種類と放送時間帯の関係について、自分の生活と重ねながら考えさせる。 ４．視聴者層を意識して番組が提供されているよさをまとめる。	１．新聞記事を提示して、書いてあることを確認させる。 ２．当事者の年齢や職業が書いてある理由を考えさせる。 ３．紙幅に制限があるので、分かりやすく伝えるために様々な工夫が施されていることを理解させる。 ４．分かりやすく伝えるためのプロの工夫に気付かせ、そのよさをまとめる。	１．プロフとプロフィール帳の似ていることをおさえる。 ２．プロフとプロフィール帳の項目を比較させ、プロフには個人情報を書くところがないことに気付かせる。 ３．プロフはインターネット上で広く公開されることから、個人情報を書き込まないように注意することを理解させる。 ４．個人情報が載っていなくても、断片的な情報がつながると個人情報が特定できることに気付かせ、その特性をまとめる。	１．架空請求を見たり聞いたりしたことがあるかを振り返らせる。ある場合、どのようなものであったかを発表させる。 ２．架空請求メールは受け手の不安や知識不足をついてくることを教える。 ３．架空請求メールの文面を読み、どこが問題なのか線を引かせる。 ４．線を引いた箇所ごとに架空請求メールが不安にさせたり知識不足をついていることを教える。 ５．冷静な読解をすることや知識をもつことが被害を防ぐことだと伝え本時をまとめる。

新聞記事を調べよう

ねらい

新聞記事は、限られた紙面を使って伝えたいことをできるだけ分かりやすく伝えるために、様々な工夫が施されていることに気付かせ、マスメディアでは、プロの送り手が工夫・編集した情報が提供されていることを理解させる。

教材の価値

新聞記事には、一見出来事とは直接関係のない当事者の「年齢」「職業」が書かれる場合があります。また、書かれない事実があったり、新聞社によって取扱いの大きさが違ったりすることもあります。そこで、この教材での活動を通して、情報の送り手である新聞社が、限られた紙面で、伝えたいことを分かりやすく伝えるために工夫していることに気付かせます。そして、この工夫によって読みたい記事をすぐに読めたり、読みやすいように記事が提供されたりしていることを理解させることを想定しています。この活動を通して、便利に情報が提供されている情報社会のしくみについて考えようとする子どもの姿を期待しています。

対象学年

小学校第５学年

教科・領域等

国語科・総合的な学習の時間

時間数

１時間

授業の位置付け

国語科の時間、あるいは、総合的な学習の時間で実践できる題材として用意しました。

国語科で新聞記事の読み解きを行う場合は、出来事をイメージしやすく工夫したり限られた文字数で表したりなど、分かりやすく伝えることを意識させる実践として行うことができます。また、文章構成の一つとして、報道記事のもつ構成に気付かせることで、「書く」学習活動と関連して実践することもできます。

総合的な学習の時間で行う場合は、新聞記事を読み解くことで、送り手の意図を立ち止まって考えることの必要性や、受け手に与える影響を考えて情報を発信する態度について考えさせることができます。

準備物

【この冊子に同梱】

ワークシート、新聞記事

【教材ダウンロードサイトで入手】

http://mdtk.mlk5.net/pack/

ワークシート（ＰＤＦ）、新聞記事（ＰＤＦ）、授業用スライド

【その他あった方がよいもの】

プロジェクタ、スクリーン、他の新聞記事

＊付属の新聞記事以外を使って、プロジェクタで拡大投影して調べさせることもできます。

授業の展開例

	学習活動	指導上の留意点
8分	**1．新聞記事に書いてあることを確認する。** ■**指示**　（スライド２を提示し） この新聞記事の赤線の範囲をいっしょに読みましょう。 ■**発問** この記事で、一番伝えたかったことは何でしょう？ ＜予想される反応＞ ・男女８人が表彰されたこと…「見出し」から分かる。 ・池でおぼれた人を助けた人が表彰されたこと…「見出し」「リード文」から分かる。	・本時は自作の新聞記事を用意したことを伝える。 ・見出しから本文まで音読させる。 ・指名して発言させた後、そのことはどこを読めば分かるかを尋ねる。「見出し」が伝えたいことの中心であることや「リード」が記事全体の要約になっていることにふれる。
27分	■**学習課題**　分かりやすく伝えるための新聞記事の工夫について考えよう **2．新聞記事の工夫を調べる。** ■**指示** 記事の中の年齢や職業が書いてあるところに線を引きましょう。 ■**発問** 救助した人たちの年齢や職業が書いてあることで、何が分かりますか？ ＜予想される反応＞ ・どんな人が助けたのかよく分かる。 ・いろいろな職業や年齢の人が救助したことが分かる。 ・誰が助けたか分かる。（同姓同名の人と間違えない） ■**発問** おぼれている人の名前はふせてあります。どうしてでしょう。 ＜予想される反応＞ ・載せてほしくないと言ったから。 **3．紙幅に制限があることを知る。** ■**発問**　（写真を入れた同記事を提示して） この記事はどうしてこのような大きな記事にはならないのだと思いますか？ ＜予想される反応＞ ・紙面に限りがあるから。 ・もっと話題性のある記事が選ばれるから。	・ワークシートの１に書かせる。 ・ワークシートの２に書かせる。 ・いろいろな年齢、職業の人が救助に関わっているということを表記することによって、この出来事のすばらしさや表彰の価値が分かりやすく伝わるということを確かめる。 ・年齢や職業は伝えたいこととは直接関係がないが、同姓同名の人と区別する等の理由で表記する場合が多いことを押さえる。 ・おぼれた本人の名前は伏せられていることを取り上げ、新聞記者等が取材時に「年齢や職業を記事に明記しても良いか」と確認をし、表記に配慮する場合が多いことにもふれる。 ・紙幅には限りがあるので、社会的な意味が大きい・話題性が高いと新聞社が判断した記事が優先され、掲載されるということを押さえる。
10分	**4．分かりやすく伝えるためのプロの工夫をまとめる。** ■**指示** ワークシートの［　　］に言葉をあてはめて、新聞記事の特性をまとめましょう。 ＜予想される反応＞ ・紙面　・文字数 ■**まとめ**　読者にできるだけ出来事のイメージを持ちやすい情報を送るために、新聞記事では伝えたいことと直接関係のない事実を伝えることもある。新聞記事は［　　］が限られているので、できるだけ短く分かりやすく伝える工夫がされている。	・ワークシートの３にあてはまる言葉を書かせる。

授業資料
授業資料は、次の教材ダウンロードサイトで入手することができます。
http://mdtk.mlk5.net/pack/

2009/2/14「メディつき新聞社」朝刊の社会面より

おぼれた男性救助した男女8人を表彰

13日東京・上野消防署

不忍池で昨年12月31日に発生した水難事故で、おぼれた栃木県の公務員男性＝当時（44）＝を救助し、救急隊が到着するまで適切な応急手当てを行い男性の救命に貢献したとして、東京都消防庁第六消防方面本部は13日午後、救助に携わった台東区内の男女8人に消防協力者表彰を贈った。表彰式は上野消防署で行われ、山田太郎消防次長が「迅速、的確な連携で1人の命が救われた。隊員一同、深い感激を受けた」と謝辞を述べ、表彰状を手渡した。

表彰を受けたのは、それぞれ台東区内在住の会社員堀田龍也さん（28）、会社員天野三鶴さん（28）、大学2年生吉野和美さん（20）、上野中1年の高橋伸明君（13）、看護師松橋尚子さん（27）、同笠原晶子さん（28）、同影山知美さん（26）の8人。表彰式には全員が出席し、山田次長から1人ひとり表彰状を受け取った。

水難事故が発生したのは、12月31日午後2時50分ごろ。台東区不忍池の遊歩道を歩いていた、栃木県の公務員男性＝当時（44）＝が足を取られて池に転落。堀田、天野、吉野さんの3人がいち早く助けを求める男性に気付いて池から引き上げたが、男性が気を失ったため、近くで遊んでいた高橋、宮脇君の協力を得て、専門知識を持つ人はいないかを周辺で探索。たまたま通りかかった松橋、笠原、影山さんが中心となり、救急隊が到着するまで心肺そ生法を行ったという。

8人の迅速かつ的確な連携プレーが功を奏し、男性は区内の病院に運ばれて無事、一命を取り留めた。山田次長は表彰式で、救命現場に居合わせる人々、通称〝バイスタンダー〟による救命の必要性を強く語り、受賞者に同本部が実施する救急救命講習会へのさらなる理解と協力を求めた。受賞者は表彰状を手に、神妙な表情を見せていた。

新聞記事を調べよう

年　　組　　番　　名前

1．新聞記事を読みましょう。

2009/2/14「メディつき新聞社」朝刊の社会面より

おぼれた男性救助した男女8人を表彰

13日東京・上野消防署

不忍池で昨年12月31日に発生した水難事故で、おぼれた栃木県の公務員男性＝当時（44）＝を救助し、救急隊が到着するまで適切な応急手当てを行い男性の救命に貢献したとして、東京都消防庁第六消防方面本部は13日午後、救助に携わった台東区内の男女8人に消防協力者表彰を贈った。表彰式は上野消防署で行われ、山田太郎消防次長が「迅速、的確な連携で1人の命が救われた。隊員一同、深い感激を受けた」と謝辞を述べ、表彰状を手渡した。

表彰を受けたのは、それぞれ台東区内在住の会社員堀田龍也さん（28）、会社員天野三鶴さん（28）、大学2年生吉野和美さん（20）、上野中1年の高橋伸明君（13）、宮脇康一君（12）、看護師松橋尚子さん（27）、同笠原晶子さん（28）、同影山知美さん（26）の8人。表彰式には全員が出席し、山田次長から1人ひとり表彰状を受け取った。

水難事故が発生したのは、12月31日午後2時50分ごろ。台東区不忍池の遊歩道を歩いていた、栃木県の公務員男性＝当時（44）＝が足を取られて池に転落。堀田、天野、吉野さんの3人がいち早く助けを求める男性に気付いて池から引き上げたが、男性が気を失ったため、近くで遊んでいた高橋、宮脇君の協力を得て、専門知識を持つ人はいないかを周辺で探索。たまたま通りかかった松橋、笠原、影山さんが中心となり、救急隊が到着するまで心肺そ生法を行ったという。

8人の迅速かつ的確な連携プレーが功を奏し、男性は区内の病院に運ばれて無事、一命を取り留めた。山田次長は表彰式で、救命現場に居合わせる人々、通称〝バイスタンダー〟による救命の必要性を強く語り、受賞者に同本部が実施する救急救命講習会へのさらなる理解と協力を求めた。受賞者は表彰状を手に、神妙な表情を見せていた。

2．救助した人たちの年齢や職業が書いてあることで、何が分かりますか？

3．次の［　　］に言葉をあてはめて、新聞記事の特性をまとめましょう。

読者にできるだけ出来事のイメージを持ちやすい情報を送るために、
新聞記事では伝えたいことと直接関係のない事実を伝えることもある。

新聞記事は［　　］が限られているので、

できるだけ短く分かりやすく伝える工夫がされている。

新聞記事を調べよう

年　　組　　番　　名前

1．新聞記事を読みましょう。

2009/2/14「メディつき新聞社」朝刊の社会面より

おぼれた男性救助した男女8人を表彰

13日東京・上野消防署

不忍池で昨年12月31日に発生した水難事故で、おぼれた栃木県の公務員男性＝当時（44）＝を救助し、救急隊が到着するまで適切な応急手当てを行い男性の救命に貢献したとして、東京都消防庁第六消防方面本部は13日午後、救助に携わった台東区内の男女8人に消防協力者表彰を贈った。表彰式は上野消防署で行われ、山田太郎消防次長が「迅速、的確な連携で1人の命が救われた。隊員一同、深い感激を受けた」と謝辞を述べ、表彰状を手渡した。

表彰を受けたのは、それぞれ台東区内在住の会社員堀田龍也さん（28）、会社員天野三鶴さん（28）、大学2年生吉野和美さん（20）、上野中1年の高橋伸明君（13）、宮脇康一君（12）、看護師松橋尚子さん（27）、同笠原晶子さん（28）、同影山知美さん（26）の8人。表彰式には全員が出席し、山田次長から1人ひとり表彰状を受け取った。

水難事故が発生したのは、12月31日午後2時50分ごろ。台東区不忍池の遊歩道を歩いていた、栃木県の公務員男性＝当時（44）＝が足を取られて池に転落。堀田、天野、吉野さんの3人がいち早く助けを求める男性に気付いて池から引き上げたが、男性が気を失ったため、近くで遊んでいた高橋、宮脇君の協力を得て、専門知識を持つ人はいないかを周辺で探索。たまたま通りかかった松橋、笠原、影山さんが中心となり、救急隊が到着するまで心肺そ生法を行ったという。

8人の迅速かつ的確な連携プレーが功を奏し、男性は区内の病院に運ばれて無事、一命を取り留めた。山田次長は表彰式で、救命現場に居合わせる人々、通称〝バイスタンダー〟による救命の必要性を強く語り、受賞者に同本部が実施する救急救命講習会へのさらなる理解と協力を求めた。受賞者は表彰状を手に、神妙な表情を見せていた。

2．救助した人たちの年齢や職業が書いてあることで、何が分かりますか？

- どんな人が助けたのかよく分かる。
- いろいろな職業や年齢の人が救助したことが分かる。
- 誰が助けたか分かる。（同姓同名の人と間違えない）など

3．次の［　　］に言葉をあてはめて、新聞記事の特性をまとめましょう。

読者にできるだけ出来事のイメージを持ちやすい情報を送るために、
新聞記事では伝えたいことと直接関係のない事実を伝えることもある。

新聞記事は［紙面　文字数　など］が限られているので、

できるだけ短く分かりやすく伝える工夫がされている。

授業時の教師用トーク

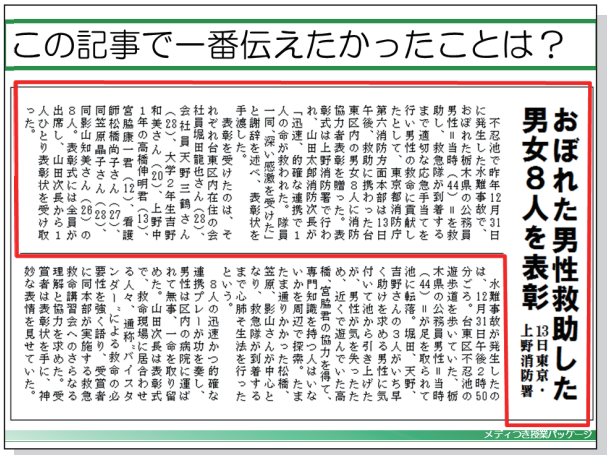
スライド１

今日は、今日は新聞記事を調べます。

スライド２

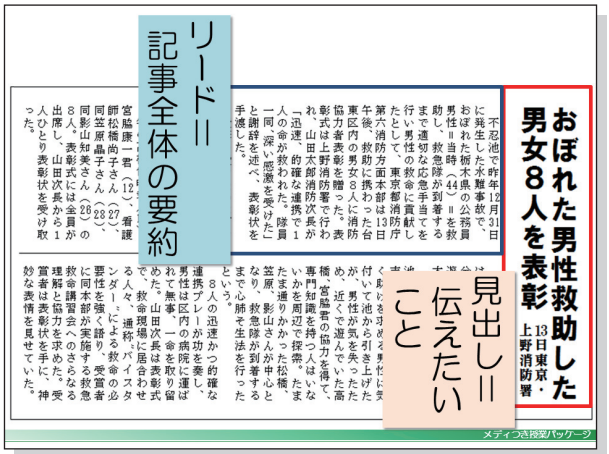
この新聞記事の赤線の範囲をいっしょに読みましょう。

スライド３



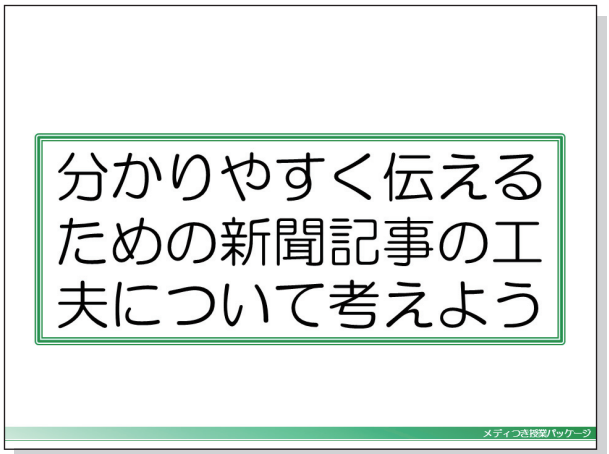
この記事で、一番伝えたかったことは何でしょう？
（３人ほど指名する。）
＜予想される反応＞
- 男女８人が表彰されたこと…「見出し」から分かる。
- 池でおぼれた人を助けた人が表彰されたこと…「見出し」「リード文」から分かる

スライド４



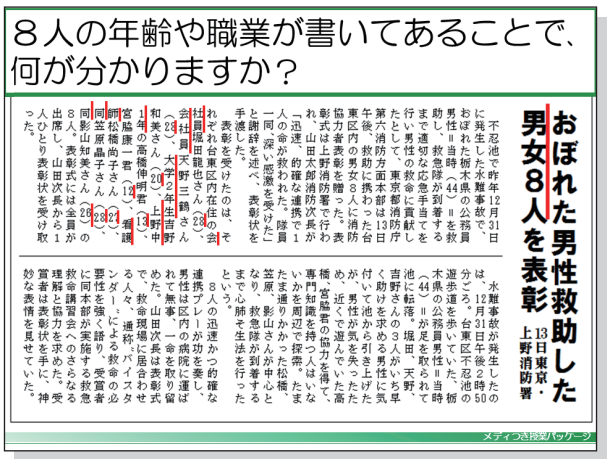
「見出し」は、伝えたいことの中心が書いてあります。
「リード」は、記事全体の要約になっています。
新聞記事の見出しやリードを読めば、その記事の一番伝えたかったことが分かります。

スライド５



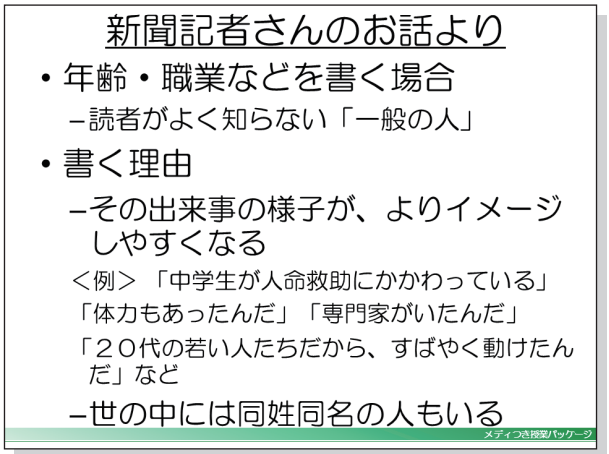
学習課題は「分かりやすく伝えるための新聞記事の工夫について考えよう」です。

スライド６



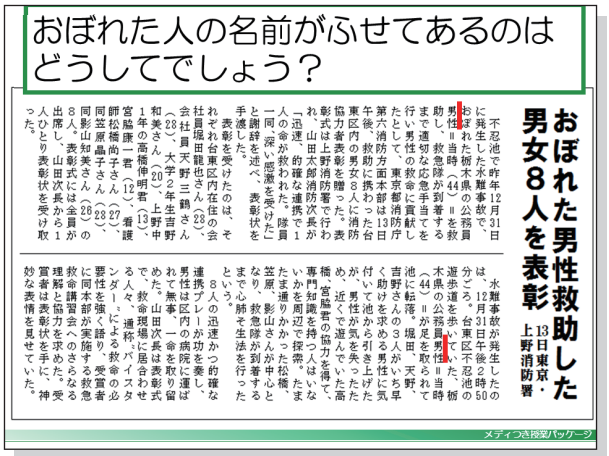
ワークシートを見ましょう。
ワークシートの記事の中で、８人の年齢や職業が書いてあるところに線を引きましょう。
８人の年齢や職業が書いてあることで、何が分かりますか。
ワークシートの２に書きましょう。（書かせた後に数名指名する。）
＜予想される反応＞
- どんな人が助けたのかよく分かる。
- いろいろな職業や年齢の人が救助したことが分かる。
- 誰が助けたか分かる。（同姓同名の人と間違えない）

スライド７



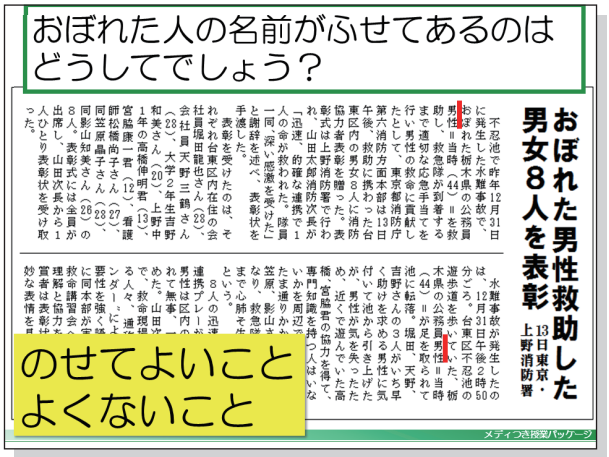
新聞記者さんに尋ねたところ、
年齢・職業などを書く場合は、読者がよく知らない「一般の人」が記事になった場合です。
書く理由は、その方が出来事の様子をよりイメージしやすくなるからです。
例えば、「20 代の若い人たちだから、すばやく動けたんだ」、「体力もあったんだ」、「専門家がいたんだ」、「中学生が人命救助にかかわっている」などです。
それに世の中には同姓同名の人もいるので、年齢や職業を書くことで誰であるかが分かります。

スライド８



赤線の所を見ましょう。おぼれた人の名前はふせてあります。
どうしてでしょう？
（数名指名する。）

スライド９

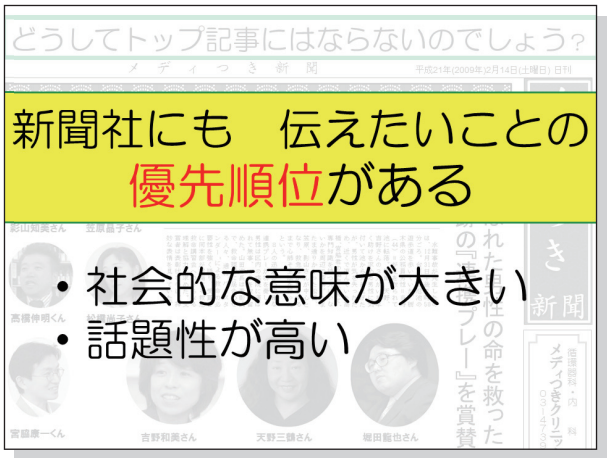


新聞記者は、取材する時に「年齢や職業を記事に書いてもよいか」などを確認し、書く内容に配慮しています。

スライド 10

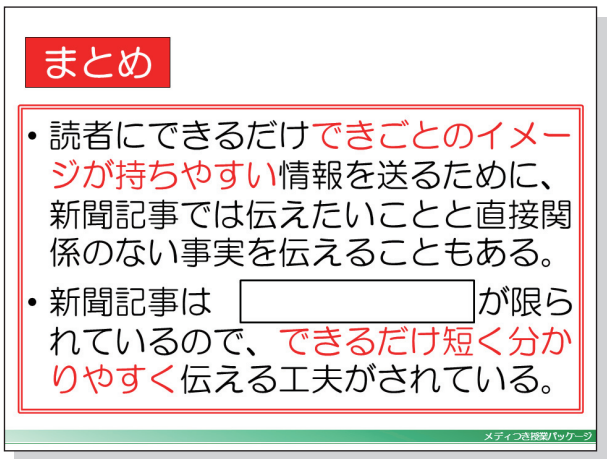
この記事はどうしてトップ記事のような大きな記事にはならないのだと思いますか？
（３人ほど指名する）
＜予想される反応＞
・紙面に限りがあるから。
・もっと話題性のある記事が選ばれるから。

スライド 11



新聞社にも伝えたいことの優先順位があります。
紙面には限りがあるので、
・社会的な意味が大きい。
・話題性が高い
と新聞社が判断した記事が掲載されます。

スライド 12



今日の勉強をまとめます。ワークシートの３を見ましょう。
□にことばをあてはめて新聞記事の特性をまとめましょう。
（書く時間を１、２分間とる）
何ということばが入りましたか。（数名指名する）
＜予想される反応＞・紙面・文字数
□に「紙面」（文字数など児童が言ったことばをあてはめる）を入れて読みましょう。（全員で音読する）
これで授業を終わります。

メディアとのつきあい方学習

授業パッケージ

平成 23 年 1 月　第一版発行

編 著　メディアとのつきあい方学習実践研究会
http://mdtk.mlk5.net/

＊本書は（財）上月スポーツ・教育財団第 18 回上月情報教育研究助成事業「『情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動』のための授業パッケージと教員研修プログラムの開発」（研究代表者：高橋伸明）の研究成果をもとに制作したものです。
＊本書の無断転載・複製・複写（コピー）・翻訳を禁じます。